

**製品名: Emi1 (16Z12) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe10439**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02% 新型保存料 N、50% グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000
分子量	50kDa

**抗原情報**

遺伝子名	FBXO5
別名	EMI1; FBX5; Fbxo31; fbxo5;
遺伝子 ID	26271.0
SwissProt ID	Q9UKT4
免疫原	ヒト Emi1 の組み換えタンパク質

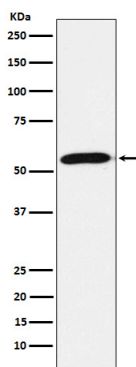
**背景**

有糸分裂後期促進複合体/サイクロソーム (APC) を阻害することにより、初期の有糸分裂の進行を制御します。APC 活性化因子 CDC20 および FZR1/CDH1 に結合し、APC の活性化を阻害します。また、APC に直接結合して基質結合を阻害することもできます。有糸分裂および減数分裂細胞周期における APC 活性の調節因子です (PubMed:17485488、PubMed:17234884、PubMed:17875940、PubMed:23708001、PubMed:23708605、PubMed:16921029)。有糸分裂期の細胞周期においては、APC-FZR1 複合体の基質および阻害剤として機能します (PubMed:29875408、PubMed:17485488、PubMed:17234884、PubMed:17875940、PubMed:23708001、PubMed:23708605、PubMed:16921029)。G1 期においては、APC-FZR1 複合体 E3 リガーゼの基質として機能します (PubMed:29875408)。その後、S 期および G2 期においては、APC-FZR1 複合体の阻害剤として機能し、細胞周期の決定に関与します (PubMed:29875408)。APC 阻害剤として、APC 基質の分解を複数のレベルで阻害します。具体的には、APC と相互作用し、FZR1 および ANAPC10 によって形成される D ボックス共受容体への APC 基質のアクセスを阻害すること、UBE2C および UBE2S の活性を阻害することで APC によるユビキチンライゲーションおよび鎖伸長を抑制することなどです (PubMed:23708605、PubMed:23708001、PubMed:16921029)。間期における APC 阻害を介して DNA 複製と有糸分裂を調整し、CCNA2 および GMNN を安定化させることで有糸分裂を促進し、再複製および DNA 損傷誘発性細胞老化を防ぐことで、ゲノム完全性維持に役割を果たします (PubMed:17234884、PubMed:17485488、PubMed:17875940)。卵母細胞成熟過程において、APC-FZR1 複合体の不活性化を介して減数分裂に関与する。RPS6KA2 との相互作用を介して APC を阻害し、FBXO5 の CDC20 に対する親和性を高め、受精前の第二減数分裂のメタフェーズ停止を引き起こす (類似性による)。APC-FZR1 複合体の不活性化を介して第一減数分裂への移行を制御する (類似性による)。間葉系幹細胞の移動および骨分化を促進する (PubMed:29850565)。

## 研究分野

細胞生物学

## 画像データ



HepG2 細胞溶解物中の Emi1 発現のウェスタン プロット分析。